

ビジュアル系
子ども・家族の
理解と支援

九 子どもとのやりとり



家族援助あれこれ

「もしも、子どもからこんなことを聞かれたら」シリーズ、思春期編。

この種の問いに正解などあるはずもなく、これらは一つの例です。

いつものように、マンガは作者の団士郎氏の許可をもらって木陰の物語と家族の練習問題から転載しています（ツッコミのイラストはフォトショップで作成）。

(6) 投げやり

もうダメ、無理！
どうせ頑張っても・・・



「でも、〇〇のところ
はうまくいっているよ、
当分このままでやってみよう」



今のままで
と言う選択！



(7) 無視

“無視”が怖い。どうすれば仲間に入れてもらえるだろう

この世で最強の特技を知ってる？それは、一人でやっていけるってこと。自分にしかできないことを淡々とやって、その特技に磨きをかけよう

同調力不要の潔さ！



(8) 怒り

先生の言い方が超ムカつく。いまからナシつけてくる！！



① 腹が立っている間は何もアクションを起こさないこと。怒りだけ伝わって肝心の言葉は届かない。② 落ち着いたたら、まず前振り。“こんなことを言ったら笑われるかもしれないけど”、“こんなこと言うときっと怒られるだろうけど”など。③ 腹が立った、頭にきたという表現は避けて、へこんだ、落ち込んだ、哀しかったという言葉で伝える。④ ちょっと練習しよう



練習が
キモ！

(9) 学校ぎらい

学校に行きたくない。
学校と聞いただけで
胸が苦しくなる！



学校では**①** 規則的な登校、**②** 競争しながらの学習、**③** 協調的な付き合いの3Kが必須だと思ってない？（ウン）3つともやる必要なんてないんだ（ウン）そのうち一つだけで充分だって、知らなかっただろ？

（ウン）じゃあどれか一つ、選べる？

（ウン）**①** 日中の規則正しい生活リズムを実行する、**②** ほかの方法で学習する、**③** 学校以外の人と交わる場にでかける。

“ウン”の
リズム！



(10) 孤独

誰かに聞いて欲しいときがあるけど、実際、話するとイライラして自分を傷つけたくなる



一緒に悲しんだり、根ほり聞きたがったり、説得や束縛したがる人は避けるべきだと思う。さらっと薄く付合える同性は、どうだろう？

話す相手を選ぶこと！

